

正解のない防災

～みんなで考える、災害時の「そのときどうする？」～

避難する？

ここで待つ？



ペットは
連れていける？



乳児や高齢者と一緒に
避難の場合は？

11/28(土)

10:00～12:00

一度家族を迎えに
行くべき？



もし災害が起きたら、どう行動しますか？

災害時には一つの正解では対応できない場面が数多くあります。

「防災クロスロード」を通して、災害時に起こりうる様々な場面を疑似体験し、
自分や家族、地域の防災について一緒に学んでみませんか？

ジェンダー平等の視点
から、防災について考え
ましょう。

- 会場：メイトム宗像 結工房
- 講師：江崎 俊子さん
(NPO 法人福岡ジェンダー平等市民の会 理事
防災士/防災デザイナー)
- 対象：防災に関心のある市民
市内の防災関係者
- 定員：先着 20 人
- 託児：無料・要申込 (5 カ月～未就学児)
※ 託児締切日 11 月 19 日 (木)

※電子申請、電話、当センター窓口で受け付けます



9 月 15 日～受付

《主催・お問い合わせ・お申込み先》
宗像市男女共同参画推進センター「ゆい」

〒811-3437 宗像市久原 180 メイトム宗像内
TEL：0940-36-0250 FAX：0940-36-0269



防災クロスロードとは？

災害時に起こりうる「ひとつに決められない場面」を
題材に、参加者同士で考え、意見を出し合う
体験型の対話プログラムです。



場面のカードを読む

災害時に起こりうる、
ひとつに決められない
場面を読みます。



「Yes」「No」で
自分の考えを選ぶ

場面について、
「Yes (そうする)」か
「No (しない)」か、
自分の考えを選びます。



みんなで話し合い、
考えを深める

なぜその考えにしたのか、
他の人の考えも聞きながら、
多様な視点に気づき、
考えを深めます。



正解を出すことが目的ではなく、
多様な考えや価値観を知ることが大切です。